

恵みを活かし、
豊かに暮らす。



—— 恵まれた周辺環境を生かし、
伸びやかで心豊かな平屋的な暮らし ——

環境と敷地条件を生かした 2つの中庭のあるプラン

自分を知った人から声が掛かるのはとてもうれしい事。昔話にも花が咲き、楽しいお話もたくさんさせていただきましたが、話の中で家作りへの思いも垣間見れ、Uさんの考えを知ることもできました。特にお子さんへの愛情は深く、子供たちとのびのび暮らしたい。そんな思いが伝ってきました。今回のご計画地はご両親のお住まいと目と鼻の先ということで、土地の事などを中心にご両親にもいろいろとご協力をいただきながら進めて行きました。

外観写真でも分かるように、今回の計画地は緑豊かな周辺環境に恵まれ、また、建物も隣接していないとても恵まれた敷地でした。さんさんと降り注ぐ太陽の光、南から吹く心地よい風、住宅を建てるには申し分ない好条件の中、敷地条件を生かした平屋的な暮らしを基本とした計画で話が進んで行きました。

今回のプラン計画の中で特徴的なのが、建物形状を工夫し主庭と裏庭の2つの庭を配置した事。この2つの庭によって採光や通風を確保し、合せて、室内からの景観やプライバシーをつくり出しています。まだ庭に植栽が無いけれど、じつくりと計画して緑豊かな空間を作っていただきたいと思っています。

建築例／静岡市『歩の家』

文・写真／ココラボ 山崎健治

秋の深まる10月末、今年の7月に完成した『歩の家』に伺ってきました。歩の家のUさんとは以前の職場で共に働いた仲間。今回、お子さんの進学に合わせて家作りを行いたいという連絡をいただき、昨年から徐々に打合せを進めてきました。同じ職場では働いていたものお互いの分野は違い、同時期にそれぞれの道に進み数年後の再会でした。



平屋的なフォルムを活かし、のびのびとした外観。



玄関脇の土間収納。家族の靴をはじめ、屋外で使う道具も収納できて便利。このスペースは、玄関を綺麗に保つ秘訣です。



建物形状を利用してつくられた小屋裏収納。15帖程ある小屋裏収納は、何でも置ける魔法の空間。



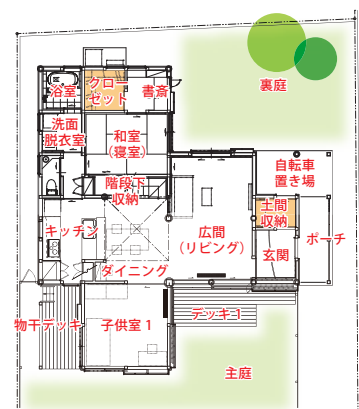
2帖程のクローゼットですが、棚とパイプをL型に廻し、思った以上の収納が可能です。



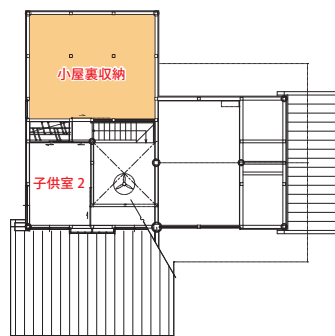
書斎コーナー。書斎は寝室の奥まった位置に配置し、やりかけの仕事や勉強もできるワークデスクとしました。

この家の最大の収納と言えば、やはり小屋裏収納です。階段を登り右手の引戸を開けると15帖ほどの収納部屋が広がっています。天井はだんだんと低くなっていますがとてもたくさんの物が置け、この家にはなくてはならないスペースとなっています。通常小屋裏空間は熱の影響を受けやすい造りになっていますが、屋根面に断熱層を

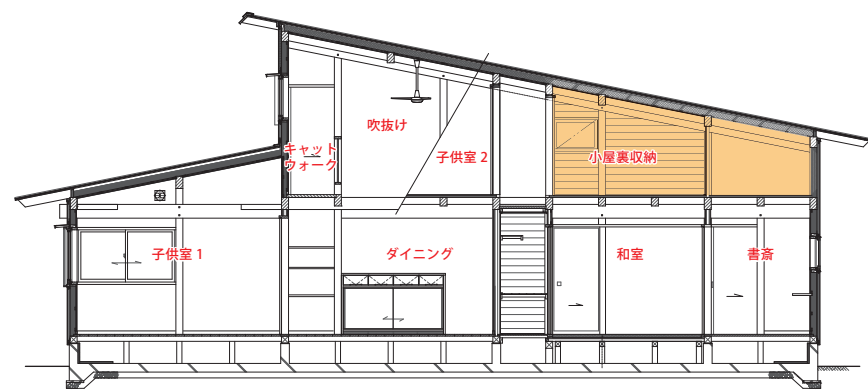
確保し、断熱層の上に通気層を設ける事で、部屋として十分な環境を作る事ができます。床面積等に制限のある場合やコスト面から有効な方法として、コロボの家では度々造られる方法です。裏庭に面して作られた和室は主に寝室として使われています。この和室には2帖ほどのクローゼットと、同じく2帖ほどの書斎がついています。クローゼットには洋服掛けのパイプと棚をL型に作りつけています。クローゼットは2帖とそれ程大きな空間ではないですが、天井までのスペースを棚等で工夫して使っていけば、思ったよりたくさんの収納が可能です。書斎には本棚と机を作りつけ、現在は奥さんの勉強場所として活用されています。広間やダイニング等のみんなの目に触れる場所と違い、少し奥まったこの場所はやり掛けの仕事や勉強をそのままにしてもOK。こちらも裏のスペースかな？



1F 平面図・敷地図



2F 平面図



断面図

実用性を重視した、 ポリウムのある収納計画

広く開放的な内部空間を特徴とした『歩の家』ですが、それぞれの場所にあわせた収納計画もされています。玄関横には、家族の靴をはじめ、屋外で使用する道具などを収納する土間収納を設置しました。この土間収納には玄関とは別の出入り口があり、主に家族の出入口として利用しています。また、出入り口の外には屋根の付いた自転車置き場を配置し、玄関周辺をより綺麗に保つための工夫としています。

確保し、断熱層の上に通気層を設ける事で、部屋として十分な環境を作る事ができます。床面積等に制限のある場合やコスト面から有効な方法として、コロボの家では度々造られる方法です。裏庭に面して作られた和室は主に寝室として使われています。この和室には2帖ほどのクローゼットと、同じく2帖ほどの書斎がついています。クローゼットには洋服掛けのパイプと棚をL型に作りつけています。クローゼットは2帖とそれ程大きな空間ではないですが、天井までのスペースを棚等で工夫して使っていけば、思ったよりたくさんの収納が可能です。書斎には本棚と机を作りつけ、現在は奥さんの勉強場所として活用されています。広間やダイニング等のみんなの目に触れる場所と違い、少し奥まったこの場所はやり掛けの仕事や勉強をそのままにしてもOK。こちらも裏のスペースかな？



L字型につながった広間と食堂。ワンルームの中にそれぞれの居場所があり、居心地の良い空間をつくっている。

木の優しさに包まれた 開放的な内部空間

『歩の家』は外観から見ると平屋建ての住宅にも見えますが、屋根裏空間を子供室と広めの小屋裏収納に利用し、内部空間を無駄なく計画しています。また、広間やダイニングなどは屋根形状を利用し、勾配天井や吹き抜け空間としました。ソファやダイニングテーブルなど、それぞれの場所違った雰囲気を楽しめるのもこの家の特徴です。中でも、主庭とつながった全面開放の大きなガラス戸はこの家の主役。冬の季節はさんと光を取り込み、夏は心地よい風を入れてくれます。ガラス戸の内側に仕込んだ障子の機能も加わり、季節を問わず

ず心地よい空間に出来上がりました。

心地よいと言えば、ダイニングに座った時、吹き抜けの窓から夜空の星や月が見えるのもお気に入りです。バタバタとした日常の生活の中で、ほっとするひと時なのではないでしょうか。とても羨ましい時間です。

心地良さは『歩の家』の素材からもにじみ出ているように思います。天井や床板に使用した杉材を中心に、障子紙や市松柄の襖からも優しい雰囲気を感ずります。また、広間やダイニングに置かれた統一された家具も、気取らず落ち着いた印象でこの家に安心感を与えてくれると思います。この家具を製作してくれたのは、コロボ通信設置店でもおなじみ、岡部町の「baso（ベース）」さんです。



小屋裏スペースを吹き抜け空間として利用している。南の窓から夜空が望め、特別な時間を楽しんでいる。

心身共に豊かな暮らし

今回、恵まれた周辺環境の中にのびのびとした平屋的な住まいを建築させていただき、携わらせていただいた私たちにとって、も楽しい家づくりでした。『歩の家』の家づくりを通して、設計打ち合わせから施工、そして完成までを通して、ひとつの家族の物語が着実に歩き出していると感じました。家族の居場所をこの地と選び、そして、そこで暮らす器をひとつひとつ創り上げていく。はじめは違った夫婦の価値観もいつの間にか同じものに変化し、共に喜び喜びに変わる。少し窮屈だった生活から広々とした暮らしに変わり、子供たちののびのび元気に暮らしていく。家は出来たばかりでまだまだ不都合もあるけれど、それらひとつひとつを考え整えていく事もこれからの楽しみ。歩き出した物語は枝葉を伸ばし、花を咲かせ、一步一步着実に進んでいくのだろうと思います。

『歩の家』の場合、周辺環境や敷地条件、またはご両親との関係など、恵まれた条件が重なり、豊かな家づくりが出来たと思いますが、恵まれた環境があるだけでは無く、それらを生かして空間や素材・光や風などを巧みに使い、心と体に満ち足りた安らぎを与えてくれる住まいを造る事が大切だと感じています。そして、それらは単調なものではなく、それぞれの環境や家族によつ

ても違うものだと思います。また、そこに住まう方の意識や工夫も重要で、建築だけが前に出るのではなく、住まう方との相性の良い家を作っていかなければいけないと感じます。まだまだ未熟な私たちですが、これからもみんな考えていかなければいけない大切なテーマです。

家が完成し、主庭の板塀造りを手伝わせていただきました。打合せの時は幼稚園に通っていた長女のSちゃんも今は小学校1年生。大きなランドセルを背負って帰って来る姿を見ると、なんだか微笑ましく感じます。建前の数日後に生まれた赤ちゃんも元気にすくすくと育ち、この家の暮らしは順調に歩き出していると感じました。

まだまだ歩き始めたばかりの暮らしですが、これからも家族皆、のびのびと毎日を過ごしていただきたいと思っています。

お庭が出来たら呼んでね。家作りの思い出話を花を咲かせましょう！



『歩の家』を彩る

コロボオリジナル仕様

コロボで造っている木の家は、素材を吟味し、ひとつひとつ職人の手で造られています。手間を惜まず、細部までこだわったオリジナル仕様をご紹介します。

HPに詳しく掲載しています！
[<http://www.kokolab.jp/>]



ポーチの柱には、目隠しと風止めの目的で縦板を貼りました。小幅な縦板は垂木と重なり繊細な雰囲気仕上っています。



玄関ポーチは、アプローチと裏庭をつなぐ通り土間にもなっています。漆喰壁とリズムカルに配置された垂木がとても綺麗です。



キッチンは二の字に配置。収納と作業スペースを大きく確保。キッチン先に物干しデッキを作り、最短の家事動線をつくりました。



コンロ側のキッチンは奥行き 800mm のワイドキッチン。料理の下ごしらえから盛付けまで、ストレス無しのキッチンです。



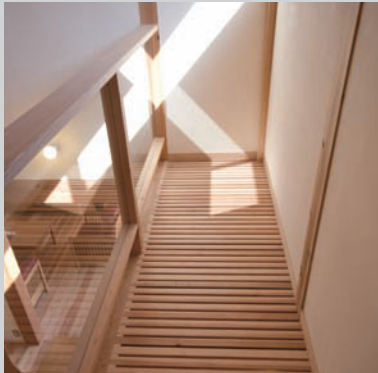
ミズナラ一枚板を式台に使用しました。樹齢 100 年以上の目の詰まったミズナラは、使えば使うほど味わいを増していきます。



浴室に続いてこちらは杉壁の脱衣室。湿気のある部屋だからこそ木の壁が威力を発揮してくれます。



コロボ定番のヒバ壁の浴室です。300mm のタイルは石目調のブラック。浴室全体を引締めます。



ダイニングの吹抜けにスノコ式のキャットウォークを作りました。スノコ床から漏れる光がとても綺麗だと評判です。

仕様内容

外部仕上	家族構成	家族 4 人	内部仕上	天井仕上	杉板本実張り 厚 12mm
	敷地面積	299.07 m ²		壁	漆喰塗り
外部仕上	建築面積	112.29 m ²		床	杉板本実張り 厚 30mm
	延べ床面積	125.05 m ²		内部建具	オリジナル木製建具
外部仕上	構法	在来工法 2 階建て		キッチン	オリジナルキッチン
				洗面化粧台	オリジナル化粧台
外部仕上	屋根	ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺き		浴室	オリジナル浴室
	外壁	ガルバリウム鋼板		壁、天井	青森ヒバ
外部仕上	ラスモル下地	漆喰仕上		床、腰壁	サーモタイル 300 角貼
	外部建具	木製オリジナル建具 桜、ナラ		設計者	山崎健治
外部仕上		ペアガラス+アルミサッシ (ペアガラス)		施工	有限会社こころ木造建築研究所
				竣工	平成 24 年 7 月



周辺環境を活かし開放的な外観だが、中庭を板塀で囲み、プライバシーを確保している。板塀はうさんの力作。